



授業の目的

現代社会においては、少子化・核家族化・都市化による地域における人間関係の希薄化・家庭の教育力の低下などの課題が見られる。特に乳幼児の子育てにおいては両親が乳幼児にかかわった経験が少ないことから子育てに悩みを持つことも少なくない。そのため、地域においてはさまざまな子育て支援が行われている。そのような課題や子育て支援の現状を知り、実際の子育て支援の場に参加することから、子育て支援について知り、考える。

授業の内容

- 1 書物や文献を通して、乳幼児をもつ家庭の抱える問題とその背景について考える。
- 2 地域の子育て支援の目的や概要を調べ、具体的にどのような支援がおこなわれているかを知る。
- 3 実際の子育て支援において大学生としてどのような支援・貢献ができるかを考える。
- 4 実際の子育て支援に大学生として参加する。
- 5 実際の子育て支援に大学生として参加したことを振り返り、どのような学びがあったかを発表する。

難波愛の園幼稚園 「どーなっつ」0-1歳児対象への参加

乳幼児の様子と学び

子どもは何にでも興味がある。すぐに物を口に入れる。人見知りには人によってはする。音にすごく敏感。物を投げたりもする。乳幼児の前では笑顔を常に意識していた。口に物を入れていたり踏んだりしないためにおもちゃなど散らかしていたらすぐに直した。乳幼児が人見知りで不安そうになったらすぐに保護者に対応してもらうようにした。

保護者の様子と学び

自分で動ける子はある程度は自由にさせている。人見知りする子は母がずっと一緒にいないといけなくて大変そうだった。笑顔で乳幼児と一緒に遊んでいた。子どものことはしっかりと見守り、子どもの動画を撮っていた。

先生方の様子と学び

おもちゃを使い、乳幼児を遊びに誘っていた。常に笑顔で接していた。抱っこの時包み込むように安定感のある抱っこをしていた。前に出て何かをする時はしっかりと乳幼児たちの表情を観察していた。

学生の保育実践

劇遊び「動物園へいこう！」を行った。親子で動物園に行き、色々な動物に出会いうストーリー。動物の鳴き声から動物を当ててもらったり、皆でカエルの歌を歌ったりした。



まとめ

子育て支援の目的

は、保護者の育児に伴う不安や負担、孤独感を和らげ、子どもが心身ともに健やかに成長できる環境を社会全体で整えることである。先生方のサポートのおかげでこの子育て支援は成り立っていると思った。サービスラーニングを通して、乳幼児はあまり人に興味がないと思っていたけれども、実際はすごく相手のことを見て、かかわりをもてることに気付くことができた。乳幼児の笑顔を見ることがこの仕事のやりがいなのではないかと強く感じた。全員を見ることは難しかったが、乳幼児のことを色々知ることができた。

